

## グルのネコ

### グルマーイ・チッドヴィラーサーナンダが語る物語

昔、ネパールのカトマンズに、グルと大勢の弟子が住むアーシュラムがありました。このアーシュラムには、ネコも1匹住んでいました。それは素晴らしいネコで、とても人懐っこく、しきりに人を喜ばせようとしていました。ネコは良い餌を与えられ、アーシュラムの皆からとても愛されました。

ただ一つ問題がありました。アーシュラムの日課に、ネコも参加したかったのです。そして、ネコの参加は、グルと弟子のチャンティングや瞑想の時間を妨げるようになりました。なぜって？グルと弟子がチャンティングすると、ネコがうなり声を上げるのです。皆が瞑想をすると、ネコはものすごく大きないびきをかくのです。

そのためグルは、毎日チャンティングと瞑想の間、ネコを別の部屋の柱につないでおくよう求めました。弟子はグルの命令に従い、日課の規律は元に戻りました。もうネコに妨害されることもなく、皆のチャンティングと瞑想への集中は再び強くなりました。

何年かたって、ある縁起の良い日にグルが安らかにその肉体から離れました。弟子たちはそれから毎日のチャンティングと瞑想の間、ネコを柱につなぎました。

ある日、その素敵なネコは死にました。弟子たちは会合を持ち、グルの教えを守ることがいかに大切かを話し合いました。決意を持って、彼らは市場に行って新しいネコを買いました。チャンティングと瞑想の間、ネコを柱につなぐことを可能にするために、そしてそのようにして忠実にグルの教えを敬うために。

構想とデザイン: グルマーイ・チッドヴィラーサーナンダ  
デザインレイアウト: Leo Legorreta  
挿画: Dionisio Ceballos



© 2017 SYDA Foundation®. 著作権所有。  
この資料のいかなる部分も書面による許可なくして複製することを禁ず。